

2025 年度（令和 7 年度）

学生募集要項（夏期募集・冬期募集）

（一般選抜・外国人留学生特別選抜）

（兵庫県立大学看護学部生特別選抜）

兵庫県立大学大学院 看護学研究科看護学専攻博士前期課程 （修士課程）

Master's Program in Nursing



Graduate School of Nursing Art and Science
University of Hyogo

兵庫県立大学大学院 看護学研究科長 挨拶

超高齢・少子化社会の到来や医療技術の発展と医療倫理の問題、社会保障をめぐる諸課題は、人々の生活に大きな影響を与えています。また地球環境破壊や新興・再興感染症、巨大災害などによる社会への衝撃も計り知れなく、私たちはかつてない健康課題に直面しています。このような課題に対応するためには、優れた専門的知識と高度な技術をもって人と社会の健康を支援できる看護職の育成が不可欠です。

兵庫県立大学大学院看護学研究科は、人間の尊厳を基盤とし、保健医療福祉をとりまく環境の変化に斬新、創造的かつ先駆的に対応できる専門知識と技術をもった人材を育成し、実践と研究をとおして看護学の発展に寄与することを理念としています。看護学専攻博士前期課程（修士課程）においては、広い視野にたった看護学の精深な学問を受け、高度な専門性を有する看護の実践能力や研究者としての基礎能力を養い、国内はもとより外国において活躍しうる人材の育成を目指しています。社会の多様なニーズに応えその役割を果たすために、研究コース、高度実践看護コース、実践リーダーコースの3コースを設定しています。

研究コースは、生活機能看護学、環境看護学など15の専門領域があり、様々な健康問題や看護の課題に探索的に取り組む研究者を育成しています。高度実践看護コースは、高度実践看護師教育課程の認定を受けたがん看護学、クリティカルケア看護学、成人看護学、老人看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、在宅看護学の8専門領域があります。本研究科は高度実践看護師制度の設立に大きく貢献し、大学院設置当初より高度実践看護師の育成に力を入れ、240人（2024年4月現在）の専門看護師を輩出してきました。

実践リーダーコースは、保健・医療・福祉・教育などのさまざまな実践現場において現状に問題意識を持ち、実践の場を変革するためにリーダーシップを発揮できる人材を組織看護学、地域看護学、学校保健学、看護情報学の4専門領域で育成しています。また、実践リーダーコースでは仕事をしながら学ぶことができます。なお、学校保健学専門領域での履修や、小児看護学および地域看護学専門領域で所定の科目を履修することにより、養護教諭1種免許状取得者は専修免許状を取得することができます。

このほか、看護学研究科には5年一貫制の災害看護グローバルリーダーコースがあります。この専攻は、文部科学省博士課程教育リーディングプログラム(DNGL)の教育を継承したコースで、多様化・複雑化する自然災害・人為災害に対して、高度な実践力をもって活動し新たな支援枠組みを提案できるグローバルリーダーを育成しています。



目 次

兵庫県立大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程（修士課程）の概要	1 ページ
1 入試日程	24ページ
2 募集人員・出願資格	25ページ
3 出願期間・出願手続	27ページ
4 選抜方法・試験期日・試験科目等	30ページ
5 合格発表	32ページ
6 入学手続・入学料等	33ページ
7 試験会場案内図・願書記入要領	35ページ
8 利用可能な各種奨学金制度等	38ページ

●教育理念

本研究科は、人間の尊厳を基幹とし、保健医療福祉をとりまく環境の変化に斬新、創造的かつ先駆的に対応できる専門的知識と技術をもった人材を育成し、実践と研究をとおして看護学の発展に寄与することを理念としている。

博士前期課程（修士課程）においては、広い視野に立った看護学の精深な学識を授け、高度な専門性を有する看護の実践能力や研究者としての基礎能力を養い、国内はもとより海外においても活動しうる人材の育成を目指している。

●入学者受入方針（アドミッションポリシー）

本研究科は、教育理念に基づき、各専攻の特性に沿って以下のような人を求めます。

- (1) 看護学の基礎的な能力を有する人
- (2) 倫理的感受性をもって保健・医療・福祉の状況を捉え、柔軟に行動できる人
- (3) 論理的思考をもって看護学の知識を自ら学んでいくことができる人
- (4) 国内外において、看護学や看護実践の発展に寄与する意欲のある人

兵庫県立大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程（修士課程）の概要

●修業年限

2年

●収容定員

50名（入学定員25名）

●学 位

修士（看護学）

●修了要件

本研究科に2年以上在学し、本研究科所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ修士論文の審査および最終試験に合格すること。

●専門領域・設置コースの構成

博士前期課程（修士課程）は、18の専門領域に分かれており、研究コース、高度実践看護コース、実践リーダーコースおよび災害看護グローバルリーダーコースが設けられている（表1）。

表1 博士前期課程における専門領域と設置コース

専 門 領 域	研究コース	高度実践看護 コース※ ¹	実践リーダー コース※ ³	災害看護グローバル リーダーコース※ ⁴
看護生体機能学	○			
生活機能看護学	○			
環境看護学	○			
看護教育学	○			
がん看護学	○	○※ ²		
クリティカルケア看護学	○	○		
成人看護学	○	○		
老人看護学	○	○		
母性看護学	○	○		
小児看護学	○※ ⁵	○※ ⁵		
精神看護学	○	○		
在宅看護学	○	○		
国際看護学	○			
組織看護学	○		○	
地域看護学	○※ ⁵		○	
学校保健学			○※ ⁵	
看護情報学			○	
災害看護学				○

※1 高度実践看護コースは日本看護系大学協議会において高度実践看護師教育課程として認定を受けている。

※2 がん看護学専門領域の高度実践看護コースでは「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」を実施予定

※3 実践リーダーコースは昼夜開講制

※4 災害看護グローバルリーダーコースは、博士前・後期5年一貫コース

※5 養護教諭専修免許状を取得することが可能なコース

養護教諭一種免許状を有するか、その取得要件を満たす者は、学校保健学専門領域（実践リーダーコース）、小児看護学専門領域（研究コースおよび高度実践看護コース）もしくは地域看護学専門領域（研究コース）に在籍しながら所定の科目を履修することで、養護教諭専修免許状を取得することができる。

(1) **看護生体機能学専門領域**

■ **看護生体機能学（研究コース）**

人体の構造と機能について理解を深めるとともに、看護ケアやストレスが生体に及ぼす影響について、生理心理学的観点から評価する方法を学び、これらの評価手法を用いた看護研究について探求する。また、睡眠社会学・睡眠科学・睡眠医学に関する知識を深め、睡眠に関する健康課題について探索的に取り組む能力を養う。

(2) **生活機能看護学専門領域**

■ **生活機能看護学（研究コース）**

日常の生活機能を高める看護に関する知識を広く得るとともに、理解を深めるための基礎的研究法を習得する。生活機能に関する健康課題に探索的に取り組み、看護実践に寄与する研究能力を修得する。

(3) **環境看護学専門領域**

■ **環境看護学（研究コース）**

人間－環境系の理論を基盤とし、看護専門職として保健・医療・福祉における療養者を取り巻く環境（療養環境、ケア環境、看護実践教育環境）に関する課題に焦点をあて、そこでの課題を分析、設計、開発、実施、評価の視点で取り組む。さらに療養者を取り巻く環境および看護支援方法の検証・提案に取り組むための基礎的な能力を修得する。

(4) **看護教育学専門領域**

■ **看護教育学（研究コース）**

看護教育学専門領域における高度な専門知識・理論・技術を学び、看護教育学専門領域での問題や教育方法について探索的に取り組む能力を修得する。看護学生を含む看護専門職者の個々人のあらゆるキャリア発達の過程の中で、その進展支援やキャリア開発の方向性を生涯学習の視点から、看護における教育の在り方やその本質を探求する。

(5) **がん看護学専門領域**

■ **がん看護学（高度実践看護コース）**

がん看護に関する高度な知識・技術を探求し、がんの予防・健康教育、がんの診断・治療・症状緩和等の各局面において、医学的管理能力と生活調整支援能力を統合して発揮できる能力を養う。さらにがん看護の質向上のために、組織変革や必要な政策提言を行う能力を養う。

■ **がん看護学（研究コース）**

がん患者や家族が直面する健康問題に関する幅広い知識を得て、看護学を基盤とした研究手法を修得する。がん患者・家族の反応、がん政策を含む社会の反応等を明らかにするための研究能力の基盤を形成する。

(6) **クリティカルケア看護学専門領域**

■ **クリティカルケア看護学（高度実践看護コース）**

生命危機や周術期にある患者とその家族へ卓越した看護を提供するために、病態や治療ならびにクリティカルケア看護に関する諸理論や苦痛緩和と擁護の方法などの理解に基づく高度な臨床判断を培い全人的でケアとキュアが融合した高度実践看護能力を修得する。

■ **クリティカルケア看護学（研究コース）**

突然の事故や病気により生命危機状態に陥った患者とその家族が直面する健康問題に関する高度な知識を広く得て、危機やストレスに関する理論や救急・集中治療や看護への理解を背景に危機に瀕する患者とその家族への看護や取り巻く環境や社会などの課題について研究的に取り組む能力を修得する。

(7) 成人看護

慢性看護 高度実践看護

生活習慣や身体的要因に起因する健康問題を有する慢性病者に対して、卓越したケアを提供するために、慢性看護に関する諸理論、包括的アセスメント、症状緩和や疾病予防のための教育的支援方法、社会資源の活用などの知識・技術を学び、高度な看護実践能力を修得する。

■成人看護学（研究コース）

成人期における健康増進、疾病予防、健康の回復・維持に関する高度な知識を広く得て、成人期の人が直面する健康問題および看護ケア方法について探索的に取り組む能力を修得する。

(8) 老人看護学専門領域

■老人看護学（高度実践看護コース）

老人の加齢過程や健康生活に関する問題に対して高度な専門的援助を実践し、老人看護実践の開発に必要な理論や健康評価の方法、家族支援を含めたサポートシステムの推進に必要な能力を修得する。

■老人看護学（研究コース）

老年期の発達課題と老いに関する理論を基盤に高齢者の健康問題について広く知識を得て、高齢者が直面する健康問題や看護の課題に探索的に取り組む力を修得する。

(9) 母性看護学専門領域

■母性看護学（高度実践看護コース）

移行の概念を基盤として、生産年齢にある女性や家族が遭遇する健康課題／問題に対して、効果的に支援できるよう看護援助に必要な諸理論を学び高度な実践能力を修得する。

■母性看護学（研究コース）

生産年齢にある女性や家族が遭遇する健康課題／問題に関する知識を広く得て、移行の概念や看護の理論を背景に、対象の健康問題や看護の課題に研究的に取り組む能力を修得する。

(10) 小児看護学専門領域

■小児看護学（高度実践看護コース）

成長発達とセルフケア看護理論を基盤に小児の健康状態を捉え、環境の影響を考慮しながら、健康の増進、疾病や障害による小児の心身の反応に対し、高度な知識・技術を用い、適切に判断でき、必要な支援活動を創造し実践する能力を修得する。

■小児看護学（研究コース）

成長発達とセルフケア看護理論を基盤に小児の健康課題について広く知識を得て、小児とそれを取り巻く状況に潜む健康問題や看護の課題を探索し、研究的に対応する能力を修得する。

(11) 精神看護学専門領域

■精神看護学（高度実践看護コース）

個人および集団の心の健康についての理解を踏まえて、精神看護に関する諸理論と方法を学び、医師はじめ他職種との連携・協働のもとに高度な技能を発揮し、看護ケアを改善していく能力を修得する。

■精神看護学（研究コース）

個人および集団の心の健康に関する理論やセルフケア（オレム・アンダーウッド）理論を基盤とした精神看護に関する諸理論を学び、多職種との連携・協働のもとに看護実践を創造し、展開する能力を修得する。

(12) **在宅看護**

在宅看護 高度実践看護

在宅看護の利用者・家族に関連する高度な専門知識・理論・技術を学び、倫理的判断・医学的判断に基づく的確なニーズの把握、看護計画の立案、サービスの組み立て・提供および地域ネットワークの構築と社会資源の開発ができる高度な在宅看護実践能力を修得する。

■ **在宅看護学（研究コース）**

在宅看護領域における高度な専門知識・理論・技術を広く学び、基礎的な研究手法および在宅看護学領域で探索が必要な課題について取り組む能力を修得する。

(13) **国際看護学専門領域**

■ **国際看護学（研究コース）**

国際看護に関する専門知識、理論枠組みを幅広く学び、国内外の地域に限らず、国・民族・地理・風習・生活様式・文化の多様性、保健医療制度等の違いから生じた人々の身体的・社会的・精神的な反応や看護の在り方の違い等について、解明する能力を修得する。

(14) **組織看護学専門領域**

■ **組織看護学（実践リーダーコース）**

保健・医療・福祉のシステムとマネジメント、人材開発に関する諸理論と方法を学び、看護専門職として、保健・医療・福祉の組織的課題を体系的に分析し、課題解決に向けた方略を計画・実行するとともに、よりよい看護サービス提供に向けた新たなシステムを創造・発展させる能力を修得する。

■ **組織看護学（研究コース）**

看護専門職として、変革の続く社会の中で組織における看護や管理に関する幅広い知識を得て、自立的に意思決定することができ、また一個人として自己の組織化の重要性を認識し組織看護の課題に探索的に取り組む能力を修得する。

(15) **地域看護学専門領域**

■ **地域看護学（実践リーダーコース）**

行政機関、学校、職場等のヘルスケアシステムに位置付く看護専門職として、人々の生活の営みの中で起こる健康問題を評価・分析し、問題解決に向けた方策を計画し、自らの能力を開発・向上させるとともに、組織の一員として関係する人々と協働し、新たなサービスやシステムを創造・発展させる能力を修得する。

■ **地域看護学（研究コース）**

地域社会における健康問題の予防およびあらゆる健康レベルにおける社会生活の質の追究に関する知識・理解を深め、看護の基礎的な研究法を習得し、地域看護学の課題の探索と解明に取り組む能力を修得する。

(16) **学校保健学専門領域**

■ **学校保健学（実践リーダーコース）**

養護教諭等の専門職として、児童生徒の健やかな発達および支援者の健康維持向上に向けたケアおよびシステムの改善を先導できる能力を修得する。

(17) 看護情報

看護情報 実践リーダー

看護専門職として、看護実践に伴うさまざまなデータを収集、処理、管理することによって、看護情報の活用から効果的・効率的な看護の提供を目指し、看護情報学および情報科学分野に関連する知識・技術に基づいた保健・医療・福祉分野における情報システムを構築・発展させるための基礎的な能力を修得する。

(18) 災害看護学専門領域

■災害看護学（災害看護グローバルリーダーコース）

博士前・後期課程5年一貫コースにおいて、人間の安全保障を基本理念とし、いかなる災害状況でも「その人らしく健康に生きる」ことができる安全安心社会の実現に向けて、学際的、グローバルな視点から災害看護の実践と災害看護学の発展にリーダーシップを発揮することができる能力を修得する。

●授業科目

博士前期課程（修士課程）の授業科目は、看護学基盤科目、関連教養科目、看護学共通科目からなる共通科目と18専門領域からなる領域別専門科目によって構成されている（6～23ページ参照）。

・看護学基盤科目

専門領域を深める過程において、共通する看護の基礎となる科目

・関連教養科目

専門的能力を高めるために必要となる学際的科目

・看護学共通科目

18専門領域に共通する科目

・領域別専門科目

それぞれの専門領域に関する専門性を高め、研究能力や実践能力を養うために必要となる科目

各科目の内容については、ホームページをご覧ください。

<https://www.u-hyogo.ac.jp/cnas/graduate/course>

●副プログラム

学生の多様な学びを促進し、複合的な専門知識および学術的な視野、総合的理解力を育成するために専門知識以外の特定分野について、以下の副プログラムを提供している。

・データヘルスプログラム

この副プログラムでは、多様な健診等の医療ビッグデータの分析方法を理解し、それに基づき健康改善計画や政策立案ができる基礎的な力を養うことを目的として、2021年度より開講している。

プログラム所定の科目を履修することで、プログラム修了認定を受け、データヘルス・アソシエイトの称号が得られる。

専門領域別履修モデル

専門領域：看護生体機能学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		研 究 コ ー ス
			必 修	選 択	
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○
	看護研究法Ⅰ (a)	1	2	1	○
	看護研究法Ⅱ	1		1	○
	看護研究法Ⅲ	1		2	○
	看護倫理	1			○
	小 計				8単位
関 連 教 養 科 目	哲学的人間学Ⅰ	1		2	
	心理療法原論	1～2		2	
	保健経済学	1		2	
	保健統計学	1		2	
	臨床疫学	1		2	
	保健福祉学	1		2	
	運動処方論	1		2	
	教育学特講★	1		2	
	国際保健学	1		2	
	英語エッセイの書き方	1		2	
	疫学統計★	1		2	
	人間関係の心理学★	1		2	
	人材育成開発論★	1		2	
	データヘルス	1～2		2	
	小 計				4単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	
	看護教育論	1		2	
	看護管理	1		2	
	地域保健活動論	1		2	
	看護コンサルテーション	2		2	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	
	臨床病態診断学特論	1		2	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	
	家族看護学	1		2	
	小 計				4単位以上
領域別専門 科 目	看護生体機能学特論Ⅰ	1		2	○
	看護生体機能学特論Ⅱ	1		2	○
	看護生体機能学演習	2		2	○
	看護生体機能学研究法Ⅰ	1		2	○
	看護生体機能学研究法Ⅱ	1		2	○
	看護生体機能学研究法Ⅲ	2		2	○
	看護生体機能学研究法Ⅳ	2		2	○
	小 計				14単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目				
合 計					30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

専門領域：生活機能看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		研 究 コ ー ス
			必 修	選 択	
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○
	看護研究法Ⅰ (a)	1	2	1	○
	看護研究法Ⅱ	1		1	○
	看護研究法Ⅲ	1		2	○
	看護倫理	1			○
	小 計				8単位
関 連 教 養 科 目	哲学的人間学Ⅰ	1		2	
	心理療法原論	1～2		2	
	保健経済学	1		2	
	保健統計学	1		2	
	臨床疫学	1		2	
	保健福祉学	1		2	
	運動処方論	1		2	
	教育学特講★	1		2	
	国際保健学	1		2	
	英語エッセイの書き方	1		2	
	疫学統計★	1		2	
	人間関係の心理学★	1		2	
	人材育成開発論★	1		2	
	データヘルス	1～2		2	
	小 計				4 単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	
	看護教育論	1		2	
	看護管理	1		2	
	地域保健活動論	1		2	
	看護コンサルテーション	2		2	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	
	臨床病態診断学特論	1		2	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	
	家族看護学	1		2	
	小 計				4 単位以上
領域別専門 科 目	生活機能看護学特論Ⅰ	1		2	○
	生活機能看護学特論Ⅱ	1		2	○
	生活機能看護学演習	1		2	○
	看護学特別研究Ⅰ（生活機能看護学）	1		2	○
	看護学特別研究Ⅱ（生活機能看護学）	2		2	○
	看護学特別研究Ⅲ（生活機能看護学）	2		2	○
	災害看護対象論※	1		2	
	小 計				12単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目				2 単位以上
合 計					30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

3) ※印の災害看護対象論は他領域専門科目であるが、特に履修を勧める科目である。

専門領域：環境看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		研 究 コ ー ス
			必 修	選 択	
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○
	看護研究法Ⅰ (a)	1	2	1	○
	看護研究法Ⅱ	1		1	○
	看護研究法Ⅲ	1		2	○
	看護倫理	1			○
	小 計				8単位
関 連 教 養 科 目	哲学の人間学Ⅰ	1		2	
	心理療法原論	1～2		2	
	保健経済学	1		2	
	保健統計学	1		2	
	臨床疫学	1		2	
	保健福祉学	1		2	
	運動処方論	1		2	
	教育学特講★	1		2	
	国際保健学	1		2	
	英語エッセイの書き方	1		2	
	疫学統計★	1		2	
	人間関係の心理学★	1		2	
	人材育成開発論★	1		2	
	データヘルス	1～2		2	
	小 計				4単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	
	看護教育論	1		2	
	看護管理	1		2	
	地域保健活動論	1		2	
	看護コンサルテーション	2		2	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	
	臨床病態診断学特論	1		2	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	
	家族看護学	1		2	
	小 計				4単位以上
領域別専門 科 目	人間生活環境論	1		2	○
	環境看護論	1		2	○
	環境看護学演習Ⅰ	1		2	○
	環境看護学研究法Ⅰ	1		2	○
	環境看護学研究法Ⅱ	2		2	○
	環境看護学研究法Ⅲ	2		2	○
	小 計				12単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目				2単位以上
合 計					30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

専門領域：看護看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		研 究 コ ー ス
			必 修	選 択	
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○
	看護研究法Ⅰ (a)	1	2	1	○
	看護研究法Ⅱ	1		1	○
	看護研究法Ⅲ	1		2	○
	看護倫理	1			○
	小 計				8単位
関 連 教 養 科 目	哲学的人間学Ⅰ	1		2	
	心理療法原論	1～2		2	
	保健経済学	1		2	
	保健統計学	1		2	
	臨床疫学	1		2	
	保健福祉学	1		2	
	運動処方論	1		2	
	教育学特講★	1		2	
	国際保健学	1		2	
	英語エッセイの書き方	1		2	
	疫学統計★	1		2	
	人間関係の心理学★	1		2	
	人材育成開発論★	1		2	
	データヘルス	1～2		2	
	小 計				4単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	
	看護教育論	1		2	
	看護管理	1		2	
	地域保健活動論	1		2	
	看護コンサルテーション	2		2	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	
	臨床病態診断学特論	1		2	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	
	家族看護学	1		2	
	小 計				4単位以上
領域別専門 科 目	看護生涯学習・キャリア設計論	1		2	○
	カリキュラム開発・プログラム論	1		2	○
	看護教育学演習	1		2	○
	看護学特別研究法Ⅰ (看護教育学)	1		2	○
	看護学特別研究法Ⅱ (看護教育学)	2		2	○
	看護学特別研究法Ⅲ (看護教育学)	2		2	○
	小 計				12単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目				2単位以上
合 計					30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

専門領域：がん看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		高度実践看護コース	研究コース
			必 修	選 択		
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅰ(a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅱ	1		1		○
	看護研究法Ⅲ	1		1		○
	看護倫理	1		2	○	○
	小 計				6単位以上	8単位
関 連 教 養 科 目	哲学の人間学Ⅰ	1		2		
	心理療法原論	1～2		2		
	保健経済学	1		2		
	保健統計学	1		2		
	臨床疫学	1		2		
	保健福祉学	1		2		
	運動処方論	1		2		
	教育学特講★	1		2		
	国際保健学	1		2		
	英語エッセイの書き方	1		2		
	疫学統計★	1		2		
	人間関係の心理学★	1		2		
	人材育成開発論★	1		2		
	データヘルス	1～2		2		
	小 計				選択	4単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	◆	◆から1科目 2単位以上選択
	看護教育論	1		2	◆	
	看護管理	1		2	◆	
	地域保健活動論	1		2	◆	
	看護コンサルテーション	2		2	○	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	○	
	臨床病態診断学特論	1		2	○	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	○	
	家族看護学	1		2		
	小 計				10単位以上	6単位以上
領域別専門 科 目	がん看護論	1		2	○	○
	症状緩和論	1		2	○	○
	がん治療看護論	1		2	○	○
	がん看護病態学特論	1		2	○	
	治療看護エビデンス検索演習	2		2	○	
	特別課題演習（がん看護学）	2		2	○	
	がん治療的看護介入演習	1		2	○	
	がん高度実践看護実習Ⅰ	1		2	○	
	がん高度実践看護実習Ⅱ	2		2	○	
	がん高度実践看護実習Ⅲ	2		2	○	
	がん治療看護実習Ⅰ	1		2	○	
	がん治療看護実習Ⅱ	1		2	○	
	看護学特別研究Ⅰ（がん看護学）	1		2		○
	看護学特別研究Ⅱ（がん看護学）	2		2		○
	看護学特別研究Ⅲ（がん看護学）	2		2		○
	災害看護対象論※	1		2		
	小 計				24単位以上	12単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目					
合 計					40単位以上	30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目であり、◆印は選択必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

3) ※印の災害看護対象論は他領域専門科目であるが、特に履修を勧める科目である。

専門領域：クリティカルケア看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		高度実践看護コース	研究コース
			必 修	選 択		
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅰ(a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅱ	1		1		○
	看護研究法Ⅲ	1		1		○
	看護倫理	1		2	○	○
	小 計				6単位以上	8単位
関 連 教 養 科 目	哲学的人間学Ⅰ	1		2		
	心理療法原論	1～2		2		
	保健経済学	1		2		
	保健統計学	1		2		
	臨床疫学	1		2		
	保健福祉学	1		2		
	運動処方論	1		2		
	教育学特講★	1		2		
	国際保健学	1		2		
	英語エッセイの書き方	1		2		
	疫学統計★	1		2		
	人間関係の心理学★	1		2		
	人材育成開発論★	1		2		
	データヘルス	1～2		2		
	小 計				選択	4単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	◆	◆から1科目 2単位以上選択
	看護教育論	1		2	◆	
	看護管理	1		2	◆	
	地域保健活動論	1		2	◆	
	看護コンサルテーション	2		2	○	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	○	
	臨床病態診断学特論	1		2	○	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	○	
	家族看護学	1		2		
	小 計				10単位以上	6単位以上
領域別専門 科 目	クリティカルケア看護学概論	1		2	○	○
	クリティカルケア看護 病態アセスメント論	1		2	○	○
	クリティカルケア看護学 治療・療養支援論	1		2	○	○
	クリティカルケア看護演習Ⅰ	1		2	○	
	クリティカルケア看護演習Ⅱ	1		2	○	
	クリティカルケア看護演習Ⅲ	1		2	○	
	クリティカルケア看護演習Ⅳ	2		2	○	
	クリティカルケア治療看護実習Ⅰ	1		2	○	
	クリティカルケア高度実践看護実習Ⅰ	2		4	○	
	クリティカルケア高度実践看護実習Ⅱ	2		4	○	
	特別課題演習（クリティカルケア看護）	2		2	○	
	看護学特別研究Ⅰ（クリティカルケア看護学）	1		2		○
	看護学特別研究Ⅱ（クリティカルケア看護学）	2		2		○
	看護学特別研究Ⅲ（クリティカルケア看護学）	2		2		○
	災害看護対象論※	1		2		
	小 計				26単位以上	12単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目					
合 計					42単位以上	30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目であり、◆印は選択必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

3) ※印の災害看護対象論は他領域専門科目であるが、特に履修を勧める科目である。

専門領域：成人看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		高度実践看護コース	研究コース
			必 修	選 択		
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅰ(a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅱ	1		1		○
	看護研究法Ⅲ	1		1		○
	看護倫理	1		2	○	○
	小 計				6単位以上	8単位
関 連 教 養 科 目	哲学的人間学Ⅰ	1		2		
	心理療法原論	1～2		2		
	保健経済学	1		2		
	保健統計学	1		2		
	臨床疫学	1		2		
	保健福祉学	1		2		
	運動処方論	1		2		
	教育学特講★	1		2		
	国際保健学	1		2		
	英語エッセイの書き方	1		2		
	疫学統計★	1		2		
	人間関係の心理学★	1		2		
	人材育成開発論★	1		2		
	データヘルス	1～2		2		
	小 計				選択	4単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	◆	◆から1科目 2単位以上選択
	看護教育論	1		2	◆	
	看護管理	1		2	◆	
	地域保健活動論	1		2	◆	
	看護コンサルテーション	2		2	○	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	○	
	臨床病態診断学特論	1		2	○	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	○	
	家族看護学	1		2		
	小 計				10単位以上	4単位以上
領域別専門 科 目	成人健康看護特論	1		2	○	○
	慢性治療看護論	1		2	○	○
	成人看護方法論Ⅰ	1		2	○	○
	成人看護方法論Ⅱ	1		2		○
	慢性看護活動論Ⅰ	1		2	○	
	慢性看護活動論Ⅱ	2		2	○	
	特別課題演習（慢性看護学）	2		2	○	
	慢性治療看護演習Ⅰ	1		2	○	
	慢性治療看護演習Ⅱ	1		2	○	
	慢性高度実践看護実習Ⅰ	1		1	○	
	慢性高度実践看護実習Ⅱ	1		3	○	
	慢性高度実践看護実習Ⅲ	2		2	○	
	慢性治療看護実習Ⅰ	1		2	○	
	慢性治療看護実習Ⅱ	2		2	○	
	看護学特別研究Ⅰ（成人看護学）	1		2		○
	看護学特別研究Ⅱ（成人看護学）	2		2		○
	看護学特別研究Ⅲ（成人看護学）	2		2		○
	災害看護対象論※	1		2		
	小 計				26単位以上	14単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目					
合 計					42単位以上	30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目であり、◆印は選択必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

3) ※印の災害看護対象論は他領域専門科目であるが、特に履修を勧める科目である。

専門領域：老人看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		高度実践看護コース	研究コース
			必 修	選 択		
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅰ(a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅱ	1		1		○
	看護研究法Ⅲ	1		1		○
	看護倫理	1		2	○	○
	小 計				6単位以上	8単位
関 連 教 養 科 目	哲学的人間学Ⅰ	1		2		
	心理療法原論	1～2		2		
	保健経済学	1		2		
	保健統計学	1		2		
	臨床疫学	1		2		
	保健福祉学	1		2		
	運動処方論	1		2		
	教育学特講★	1		2		
	国際保健学	1		2		
	英語エッセイの書き方	1		2		○
	疫学統計★	1		2		
	人間関係の心理学★	1		2		
	人材育成開発論★	1		2		
	データヘルス	1～2		2		
	小 計				選択	4単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	○	
	看護教育論	1		2	◆	
	看護管理	1		2	◆	
	地域保健活動論	1		2	◆	
	看護コンサルテーション	2		2	○	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	○	
	臨床病態診断学特論	1		2	○	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	○	
	家族看護学	1		2		
	小 計				12単位以上	2単位以上
領域別専門 科 目	老人看護論	1		2	○	○
	老人健康生活評価論	1		2	○	○
	老人看護サポートシステム論	1		2	○	○
	老人看護病態・治療論	1		2	○	○
	老人看護援助論	1		2	○	○
	老人治療看護演習Ⅰ	1		2	○	
	老人治療看護演習Ⅱ	1		2	○	
	特別課題演習（老人看護学）	2		2	○	
	老人高度実践看護実習Ⅰ	1		2	○	
	老人高度実践看護実習Ⅱ	1		2	○	
	老人高度実践看護実習Ⅲ	2		2	○	
	老人治療看護実習Ⅰ	1		2	○	
	老人治療看護実習Ⅱ	2		2	○	
	看護学特別研究Ⅰ（老人看護学）	1		2		○
	看護学特別研究Ⅱ（老人看護学）	2		2		○
	看護学特別研究Ⅲ（老人看護学）	2		2		○
	災害看護対象論※	1		2		
	小 計				26単位以上	16単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目					
合 計					44単位以上	30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目であり、◆印は選択必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

3) ※印の災害看護対象論は他領域専門科目であるが、特に履修を勧める科目である。

専門領域：母性看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		高度実践看護コース	研究コース
			必 修	選 択		
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅰ(a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅱ	1		1		○
	看護研究法Ⅲ	1		1		○
	看護倫理	1		2	○	○
	小 計				6単位以上	8単位
関 連 教 養 科 目	哲学の人間学Ⅰ	1		2		
	心理療法原論	1～2		2		
	保健経済学	1		2		
	保健統計学	1		2		
	臨床疫学	1		2		
	保健福祉学	1		2		
	運動処方論	1		2		
	教育学特講★	1		2		
	国際保健学	1		2		
	英語エッセイの書き方	1		2		
	疫学統計★	1		2		
	人間関係の心理学★	1		2		
	人材育成開発論★	1		2		
	データヘルス	1～2		2		
	小 計				選択	4単位
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	◆	
	看護教育論	1		2	◆	
	看護管理	1		2	◆	
	地域保健活動論	1		2		
	看護コンサルテーション	2		2	◆	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	○	
	臨床病態診断学特論	1		2	○	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	○	
	家族看護学	1		2		
	小 計				8単位以上	4単位以上
領域別専門 科 目	ウイメンズヘルス	1		2	○	○
	母性健康生活論	1		2	○	○
	母性援助論Ⅰ	1		2	○	
	母性援助論Ⅱ	1		2	○	
	母性治療看護論Ⅰ	1		2	○	○
	母性治療看護論Ⅱ	1		2	○	○
	母性治療看護演習	2		2	○	
	特別課題演習(母性看護学)	2		2	○	
	母性高度実践看護実習Ⅰ	1		2	○	
	母性高度実践看護実習Ⅱ	2		2	○	
	母性高度実践看護実習Ⅲ	2		2	○	
	母性治療看護実習Ⅰ	1		2	○	
	母性治療看護実習Ⅱ	2		2	○	
	看護学特別研究Ⅰ(母性看護学)	1		2		○
	看護学特別研究Ⅱ(母性看護学)	2		2		○
	看護学特別研究Ⅲ(母性看護学)	2		2		○
	災害看護対象論※	2		2		
	小 計				26単位以上	14単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目					
合 計					40単位以上	30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目であり、◆印は選択必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

3) ※印の災害看護対象論は他領域専門科目であるが、特に履修を勧める科目である。

専門領域：小児看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		高度実践看護コース	研究コース
			必 修	選 択		
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅰ(a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅱ	1		1		○
	看護研究法Ⅲ	1		1		○
	看護倫理	1		2	○	○
	小 計				6単位以上	8単位
関 連 教 養 科 目	哲学的人間学Ⅰ	1		2		
	心理療養原論	1～2		2		
	保健経済学	1		2		
	保健統計学	1		2		
	臨床疫学	1		2		
	保健福祉学	1		2		
	運動処方論	1		2		
	教育学特講★	1		2		
	国際保健学	1		2		
	英語エッセイの書き方	1		2		
	疫学統計★	1		2		
	人間関係の心理学★	1		2		
	人材育成開発論★	1		2		
	データヘルス	1～2		2		
	小 計				選択	4単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2		
	看護教育論	1		2		
	看護管理	1		2		
	地域保健活動論	1		2		
	看護コンサルテーション	2		2	○	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	○	
	臨床病態診断学特論	1		2	○	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	○	
	家族看護学	1		2		
	小 計				8単位以上	6単位以上
領域別専門 科 目	小児健康生活論	1		2	○	○
	小児看護援助論	1		2	○	○
	小児看護援助論演習Ⅰ	1		2	○	○
	小児看護援助論演習Ⅱ	1		2	○	
	小児保健医療福祉教育制度と看護	1		2	○	
	特別課題演習（小児看護学）	2		2	○	
	小児身体・発達アセスメント演習	1		2	○	
	小児看護臨床薬理・判断過程演習	1		2	○	
	小児高度実践看護実習Ⅰ	1		3	○	
	小児高度実践看護実習Ⅱ	2		3	○	
	小児高度実践看護実習Ⅲ	2		2	○	
	小児治療看護実習	1		2	○	
	看護学特別研究Ⅰ（小児看護学）	1		2		○
	看護学特別研究Ⅱ（小児看護学）	2		2		○
	看護学特別研究Ⅲ（小児看護学）	2		2		○
	小 計				26単位以上	12単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目					
合 計					40単位以上	30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

専門領域：精神看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		高度実践看護コース	研究コース
			必 修	選 択		
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅰ(a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅱ	1		1		○
	看護研究法Ⅲ	1		1		○
	看護倫理	1		2	○	○
	小 計				6単位以上	8単位
関 連 教 養 科 目	哲学的人間学Ⅰ	1		2		
	心理療法原論	1～2		2	○	
	保健経済学	1		2		
	保健統計学	1		2		
	臨床疫学	1		2		
	保健福祉学	1		2		
	運動処方論	1		2		
	教育学特講★	1		2		
	国際保健学	1		2		
	英語エッセイの書き方	1		2		○
	疫学統計★	1		2		
	人間関係の心理学★	1		2		
	人材育成開発論★	1		2		
	データヘルス	1～2		2		
	小 計				2単位以上	4単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2		
	看護教育論	1		2	◆ ◆から1科目	
	看護管理	1		2	◆ 2単位以上選択	
	地域保健活動論	1		2		
	看護コンサルテーション	2		2	○	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	○	
	臨床病態診断学特論	1		2	○	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	○	
	家族看護学	1		2		
	小 計				12単位以上	4単位以上
領域別専門 科 目	精神看護特論	1		2	○	○
	精神看護方法論Ⅰ	1		2	○	○
	精神看護方法論Ⅱ	1		2	○	○
	精神高度実践看護演習Ⅰ	1		2	○	
	精神高度実践看護演習Ⅱ	2		2	○	
	精神治療看護演習	1		2	○	○
	特別課題演習（精神看護学）	2		2	○	
	精神高度実践看護実習Ⅰ	1		1	○	
	精神高度実践看護実習Ⅱ	1		4	○	
	精神高度実践看護実習Ⅲ	2		3	○	
	精神治療看護実習	1		2	○	
	看護学特別研究Ⅰ（精神看護学）	1		2		○
	看護学特別研究Ⅱ（精神看護学）	2		2		○
	看護学特別研究Ⅲ（精神看護学）	2		2		○
	小 計				24単位以上	14単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目					
合 計					44単位以上	30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目であり、◆印は選択必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

専門領域：在宅看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		高度実践看護コース	研究コース
			必 修	選 択		
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅰ(a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅱ	1		1		○
	看護研究法Ⅲ	1		1		○
	看護倫理	1		2	○	○
	小 計				6単位以上	8単位
関 連 教 養 科 目	哲学の人間学Ⅰ	1		2		
	心理療法原論	1～2		2		
	保健経済学	1		2		
	保健統計学	1		2		
	臨床疫学	1		2		
	保健福祉学	1		2		
	運動処方論	1		2		
	教育学特講★	1		2		
	国際保健学	1		2		
	英語エッセイの書き方	1		2		
	疫学統計★	1		2		
	人間関係の心理学★	1		2		
	人材育成開発論★	1		2		
	データヘルス	1～2		2		
	小 計				選択	4単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	◆	
	看護教育論	1		2		
	看護管理	1		2	◆	
	地域保健活動論	1		2		
	看護コンサルテーション	2		2	○	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	○	
	臨床病態診断学特論	1		2	○	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	○	
	家族看護学	1		2	○	
	小 計				12単位以上	4単位以上
領域別専門 科 目	在宅看護活動論	1		2	○	○
	在宅看護援助論Ⅰ	1		2	○	○
	在宅看護援助論Ⅱ	1		2	○	○
	在宅看護方法論Ⅰ	1		2	○	
	在宅看護方法論Ⅱ	2		2	○	
	在宅看護管理論	1		2	○	○
	在宅治療援助論	2		2	○	
	在宅高度実践看護実習Ⅰ	1		3	○	
	在宅高度実践看護実習Ⅱ	2		3	○	
	在宅治療看護実習Ⅰ	1		2	○	
	在宅治療看護実習Ⅱ	2		2	○	
	特別課題演習（在宅看護学）	2		2	○	
	看護学特別研究Ⅰ（在宅看護学）	1		2		○
	看護学特別研究Ⅱ（在宅看護学）	2		2		○
	看護学特別研究Ⅲ（在宅看護学）	2		2		○
	災害看護対象論※	1		2		
	小 計				26単位以上	14単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目					
合 計					44単位以上	30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目であり、◆印は選択必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

3) ※印の災害看護対象論は他領域専門科目であるが、特に履修を勧める科目である。

専門領域：国際看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		研 究 コ ー ス
			必 修	選 択	
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○
	看護研究法Ⅰ(a)	1	2		○
	看護研究法Ⅱ	1		1	○
	看護研究法Ⅲ	1		1	○
	看護倫理	1		2	○
	小 計				8単位
関 連 教 養 科 目	哲学的人間学Ⅰ	1		2	
	心理療法原論	1～2		2	
	保健経済学	1		2	
	保健統計学	1		2	○
	臨床疫学	1		2	○
	保健福祉学	1		2	
	運動処方論	1		2	
	教育学特講★	1		2	
	国際保健学	1		2	○
	英語エッセイの書き方	1		2	◆
	疫学統計★	1		2	
	人間関係の心理学★	1		2	
	人材育成開発論★	1		2	
	データヘルス	1～2		2	◆
	小 計				6単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	◆
	看護教育論	1		2	
	看護管理	1		2	◆
	地域保健活動論	1		2	◆
	看護コンサルテーション	2		2	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	◆から1科目 2単位以上選択
	臨床病態診断学特論	1		2	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	
	家族看護学	1		2	
	小 計				選択
領域別専門 科 目	グローバルヘルスリサーチ概論	1		2	○
	国際看護活動論	1		2	○
	地域開発論	1		2	○
	インターナショナル・フィールドスタディ	1～2		2	○
	看護学特別研究Ⅰ（国際看護学）	1		2	○
	看護学特別研究Ⅱ（国際看護学）	2		2	○
	看護学特別研究Ⅲ（国際看護学）	2		2	○
	災害看護対象論※	1		2	◆
	小 計				14単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目				
合 計					30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目であり、◆印は選択必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

3) ※印の災害看護対象論は他領域専門科目であるが、特に履修を勧める科目である。

専門領域：組織看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		実践リーダーコース	研究コース
			必 修	選 択		
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2		○	○
	実践看護論 (b)★					
	看護研究法Ⅰ (a)	1	2		○	○
	看護研究法Ⅰ (b)★					
	看護研究法Ⅱ	1		1		○
	看護研究法Ⅲ	1		1		○
	看護倫理	1		2		○
	小 計				4単位以上	8単位
関 連 教 養 科 目	哲学の人間学Ⅰ	1		2		
	心理療法原論	1～2		2		
	保健経済学	1		2		
	保健統計学	1		2		
	臨床疫学	1		2		
	保健福祉学	1		2	◆	
	運動処方論	1		2		
	教育学特講★	1		2		
	国際保健学	1		2		
	英語エッセイの書き方	1		2		
	疫学統計★	1		2	◆	
	人間関係の心理学★	1		2	◆	
	人材育成開発論★	1		2		○
	データヘルス	1～2		2		
	小 計				2単位以上	4単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	◆	○
	看護教育論	1		2		
	看護管理	1		2		○
	地域保健活動論	1		2		
	看護コンサルテーション	2		2		
	看護ヘルスアセスメント	1		2		
	臨床病態診断学特論	1		2		
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2		
	家族看護学	1		2		
	小 計				選択	4単位以上
領域別専門 科 目	組織看護学特論	1		2		○
	看護経営管理論	1		2		○
	看護情報論	2		2		○
	組織看護学演習	1		2		○
	看護学特別研究Ⅰ (組織看護学)	1		2		○
	看護学特別研究Ⅱ (組織看護学)	2		2		○
	看護学特別研究Ⅲ (組織看護学)	2		2		○
	基礎課題ゼミナール★	1		2		○
	ヘルスケア組織論★	1		2		○
	プロジェクトマネジメント★	1		2		○
	地域ケアシステム論★	2		2	◆	
	ヘルスケアシステム演習★	1		1	◆	
	ヘルスケアにおける質管理★	2		2	◆	
	組織看護学リーダーシップ特論★	1		2		○
	組織看護学リーダーシップ実習★	2		4		○
	看護実践研究Ⅰ (組織看護学)★	1		1		○
	看護実践研究Ⅱ (組織看護学)★	2		2		○
	災害看護対象論※	1		2		
	小 計				18単位以上	14単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目				6単位	
合 計					30単位以上	30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目であり、◆印は選択必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

3) ※印の災害看護対象論は他領域専門科目であるが、特に履修を勧める科目である。

専門領域：地域看護学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		実践リーダーコース	研究コース
			必 修	選 択		
看護学基盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2	2	○	○
	実践看護論 (b)★					
	看護研究法Ⅰ (a)	1	2	2	○	○
	看護研究法Ⅰ (b)★					
	看護研究法Ⅱ	1		1		○
	看護研究法Ⅲ	1		1		○
	看護倫理	1		2		○
	小 計				4単位以上	8単位
関 連 教 養 科 目	哲学的人間学Ⅰ	1		2		
	心理療法原論	1～2		2		
	保健経済学	1		2		
	保健統計学	1		2		
	臨床疫学	1		2		
	保健福祉学	1		2	◆	
	運動処方論	1		2		
	教育学特講★	1		2		
	国際保健学	1		2		
	英語エッセイの書き方	1		2		
	疫学統計★	1		2	◆	
	人間関係の心理学★	1		2	◆	
	人材育成開発論★	1		2		○
	データヘルス	1～2		2		
	小 計				2単位以上	4単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	◆	
	看護教育論	1		2		
	看護管理	1		2		
	地域保健活動論	1		2		
	看護コンサルテーション	2		2		
	看護ヘルスアセスメント	1		2	◆から2科目 3単位以上選択	
	臨床病態診断学特論	1		2		
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2		
	家族看護学	1		2		
	小 計				選択	4単位以上
領域別専門 科 目	地域/公衆衛生看護特論	1		2		○
	地域/公衆衛生看護方法論	1		2		○
	地域ケアシステム論	2		2	◆	○
	高度公衆衛生看護演習	1		2		○
	看護学特別研究Ⅰ（地域看護学）	1		2		○
	看護学特別研究Ⅱ（地域看護学）	2		2		○
	看護学特別研究Ⅲ（地域看護学）	2		2		○
	基礎課題ゼミナール★	1		2		○
	ヘルスケア組織論★	1		2		○
	プロジェクトマネジメント★	1		2		○
	ヘルスケアシステム演習★	1		1	◆	
	ヘルスケアにおける質管理★	2		2	◆	
	地域看護学リーダーシップ特論★	1		2		○
	地域看護学リーダーシップ実習★	2		4		○
	看護実践研究Ⅰ（地域看護学）★	1		1		○
	看護実践研究Ⅱ（地域看護学）★	2		2		○
	小 計				18単位以上	14単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目				6単位以上	
合 計					30単位以上	30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目であり、◆印は選択必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

専門領域：学校保健学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		実践リーダーコース	
			必 修	選 択		
看護学基盤 科 目	実践看護論 (b)★	1	2		○	●
	看護研究法Ⅰ (b)★	1	2		○	●
	看護研究法Ⅱ	1		1		●
	看護研究法Ⅲ	1		1		●
	看護倫理	1		2		●
	小 計				4単位以上	
関 連 教 養 科 目	哲学の人間学Ⅰ	1		2		
	心理療法原論	1～2		2		●
	保健経済学	1		2		
	保健統計学	1		2		●
	臨床疫学	1		2		●
	保健福祉学	1		2		
	運動処方論	1		2		
	教育学特講★	1		2	○	●
	国際保健学	1		2		
	英語エッセイの書き方	1		2		
	疫学統計★	1		2	○	●
	人間関係の心理学★	1		2	◆	●
	人材育成開発論★	1		2		
	データヘルス	1～2		2		
	小 計				4単位以上	
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2		
	看護教育論	1		2		
	看護管理	1		2		
	地域保健活動論	1		2		
	看護コンサルテーション	2		2		
	看護ヘルスアセスメント	1		2		
	臨床病態診断学特論	1		2		
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2		
	家族看護学	1		2		●
	小 計				選択	
領域別専門 科 目	基礎課題ゼミナール★	1		2	○	
	ヘルスケア組織論★	1		2	◆	●
	小児健康生活論	1		2	◆	●
	地域／公衆衛生看護特論	1		2		●
	特別支援教育特論★	1		2	◆	●
	生徒指導特論★	1		2	○	●
	養護活動特論★	1		2	○	●
	健康相談特論★	2		2	○	●
	学校における保健と安全★	2		2	○	●
	学校保健学課題発見演習★	1		2	○	●
	学校保健学課題発見実習★	1		1	○	●
	学校保健学課題実践実習★	2		1	○	●
	学校保健学課題研究Ⅰ★	2		2	○	
	学校保健学課題研究Ⅱ★	2		2	○	
	小 計				18単位以上	
選 択	学生の目的に応じて履修する科目					
合 計					30単位以上	24単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目であり、◆印は選択必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間、土曜日や長期休業期間中に開講する科目である。

3) ●印は、養護教諭専修免許状を取得する際に単位が認定される教職課程科目である。

専門領域：看護情報学

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数		実践リーダーコース
			必 修	選 択	
看護学基盤 科 目	実践看護論 (b)★	1	2		○
	看護研究法Ⅰ (b)★	1	2		○
	看護研究法Ⅱ	1		1	
	看護研究法Ⅲ	1		1	
	看護倫理	1		2	
	小 計				4単位以上
関 連 教 養 科 目	哲学的人間学Ⅰ	1		2	
	心理療法原論	1～2		2	
	保健経済学	1		2	
	保健統計学	1		2	
	臨床疫学	1		2	
	保健福祉学	1		2	
	運動処方論	1		2	
	教育学特講★	1		2	
	国際保健学	1		2	
	英語エッセイの書き方	1		2	
	疫学統計★	1		2	○
	人間関係の心理学★	1		2	
	人材育成開発論★	1		2	
	データヘルス	1～2		2	
	小 計				2単位以上
看護学共通 科 目	看護と保健政策	1		2	
	看護教育論	1		2	
	看護管理	1		2	
	地域保健活動論	1		2	
	看護コンサルテーション	2		2	
	看護ヘルスアセスメント	1		2	
	臨床病態診断学特論	1		2	
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2	
	家族看護学	1		2	
	小 計				選択
領域別専門 科 目	看護情報論★	1		2	○
	看護情報標準化論★	1		2	○
	看護システム構築論★	2		2	○
	広域看護情報システム論★	1		2	◆
	ケア支援システム演習Ⅰ★	1		2	◆
	ケア支援システム演習Ⅱ★	2		2	◆
	プロジェクト研究基礎★	1		2	○
	看護情報学実践研究Ⅰ★	1		2	○
	看護情報学実践研究Ⅱ★	2		2	○
	小 計				16単位以上
選 択	学生の目的に応じて履修する科目				8単位
合 計					30単位以上

1) ○印は、選択した専門領域における履修モデルの必修科目であり、◆印は選択必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

専門領域：災害看護学（災害看護グローバルリーダーコース）

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位 数			前期課程	備 考
			必 修	選 択	自 由		
看 護 学 基 盤 科 目	実践看護論 (a)	1	2			○	
	看護研究法Ⅰ(a)	1	2			○	
	看護研究法Ⅱ	1		1			
	看護研究法Ⅲ	1		1			
	看護倫理	1		2		○	
	小 計					6単位以上	
関 連 教 養 科 目	哲学の人間学Ⅰ	1		2			
	心理療法原論	1～2		2			
	保健経済学	1		2			
	保健統計学	1		2			
	臨床疫学	1		2			
	保健福祉学	1		2			
	運動処方論	1		2			
	教育学特講★	1		2			
	国際保健学	1		2			
	英語エッセイの書き方	1		2			
	疫学統計★	1		2			
	人間関係の心理学★	1		2			
	人材育成開発論★	1		2			
	データヘルス	1～2		2			
看 護 学 共 通 科 目	看護と保健政策	1		2			
	看護教育論	1		2			
	看護管理	1		2			
	地域保健活動論	1		2			
	看護コンサルテーション	2		2			
	看護ヘルスアセスメント	1		2			
	臨床病態診断学特論	1		2			
	ベッドサイドの臨床薬理	1		2			
	家族看護学	1		2			
他 研 究 科 科 目 ^{A)}						選択	
他 大 学 院 科 目 ^{B)}	看護政策学特論	1～2			2	△	東京医科歯科大学開講科目
	環境防災学	1～2			1	△	高知県立大学開講科目
	災害時専門職連携演習	1～2			1	△	千葉大学開講科目
	赤十字概論Ⅱ（国際人道法含）	1～2			2	△	日本赤十字看護大学開講科目
小計（関連学際科目）						10単位以上	
領 域 別 専 門 科 目	災害看護学総論	1		2		○	
	災害看護対象論	1		2		○	
	災害グローバル看護実践論	2		2		○	コンソーシアム科目
	災害看護フィールドワークⅠ	1		1		◆	◆から2
	災害看護フィールドワークⅡ	1～2		1		◆	単位以上
	災害看護フィールドワークⅢ	1～2		1		◆	コンソーシアム科目
	グローバルヘルスリサーチ概論※	1		2			コンソーシアム科目
	国際看護活動論※	1		2			
	地域開発論※	1		2			
	災害看護研究ゼミナール	1		2		○	
	実践看護研究（災害看護学）	2		3		○	
他 大 学 院 科 目 ^{C)}	災害看護活動論（準備期）	1		2		△	高知県立大学開講科目
	災害看護活動論（復旧・復興期）	1		1		△	千葉大学開講科目
	災害マネジメント論	1		1		△	千葉大学開講科目
	災害看護学特論Ⅰ	1		2		△	東京医科歯科大学開講科目
	災害看護学特論Ⅲ	1		2		△	日本赤十字看護大学開講科目
小 計（災害看護学専門）						18単位以上	
合 計						34単位以上	

1) ○印は、選択した専門領域における履修科目の必修科目であり、◆および△は選択必修科目である。

2) ★印は、主として、夜間・土曜日の開講科目である。

3) ※印は他領域専門科目であるが、履修を勧める科目である。

4) A) 他研究科科目は、災害看護学と関連の深い、減災復興政策研究科等で提供される科目を履修する。

B) およびC) 他大学院科目は、5大学災害看護コンソーシアム協定に基づいて提供されるコンソーシアム科目を履修する。コンソーシアム科目は、本学開講のコンソーシアム科目と併せて10単位以上を選択必修とする。

5) 災害看護学領域では、博士後期課程と連続して学修する5年一貫コース（災害看護グローバルリーダーコース）を提供している。博士後期課程の履修モデルを合わせて参照すること。

1 入試日程

	夏 期 募 集		冬 期 募 集
	一 般 選 抜 ・ 外国人留学生特別選抜	兵庫県立大学看護学部生 特 別 選 抜	一 般 選 抜 の み
出 願 期 間	2024年 7 月22日(月) } 2024年 7 月29日(月)	2024年 7 月22日(月) } 2024年 7 月29日(月)	2024年11月20日(水) } 2024年11月29日(金)
出 願 資 格 審 査 申 請 期 限	2024年 7 月 5 日(金) 17 : 00		
試 験 日	2024年 8 月27日(火)		
合格発表日	2024年 9 月 3 日(火) 14 : 00	2024年 9 月 3 日(火) 14 : 00	2024年12月24日(火) 14 : 00
入 学 手 続 期 間	2024年 9 月 6 日(金) } 2024年 9 月20日(金)	2024年 9 月 6 日(金) } 2024年 9 月20日(金)	2025年 1 月 6 日(月) } 2025年 1 月15日(水)

注 1) 外国人留学生特別選抜については冬期募集を行わない。

注 2) 夏期募集選考結果によって、冬期募集を行わない専門領域があるので、あらかじめ指導教員に確認すること。

2 募集人員・出願資格

募集人員

研究科名	専攻名	課程名	募集人員	
看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程 (修士課程)	一般選抜	25名 (夏期募集・冬期募集あわせて)
			外国人留学生 特別選抜	若干名(夏期募集のみ)
			兵庫県立大学看護学部生 特別選抜	若干名(夏期募集のみ) *一般選抜の25名に含む。

出願資格

一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者は出願資格を有する。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者(2025年3月31日までに卒業見込みの者を含む。)
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者(2025年3月31日までに授与される見込みの者を含む。)
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(2025年3月31日までに修了見込みの者を含む。)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者(2025年3月31日までに修了見込みの者を含む。)
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(2025年3月31日までに修了見込みの者を含む。)
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの、またはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること、および当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者(2025年3月31日までに授与される見込みの者を含む。)
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることと、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(2025年3月31日までに修了見込みの者を含む。)

- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
- (11) その他本研究科において、個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに22歳に達する者

注1) (11)の出願資格対象者の基準は次のとおりです。

看護系の短期大学または専門学校・各種学校等の卒業者で、看護師資格を有する者で、さらに次の各号のいずれかに該当する者とする。

- ① 保健師、助産師のいずれかの免許を有し、看護職として3年以上の実務経験を有する者
- ② 5年以上の実務経験を有する者で、6ヶ月以上の看護教員養成課程を修了した者
- ③ 5年以上の実務経験を有する者で、学会、大学等が主催する体系化された教育研修を受講修了した者
- ④ 日本看護協会が認定している認定看護師、または認定看護管理者の資格を有する者
- ⑤ 修士の学位を取得した者、または入学時までに修士の学位を取得見込の者
- ⑥ 5年以上の実務経験を有する者で、学術論文、著書、研究発表の筆頭者としての研究業績を有する者

注2) 出願資格(9)(10)(11)により出願しようとする者は「3 出願期間・出願手続」の出願手続(2)も参照すること

外国人留学生特別選抜

外国籍を有し、入学時に法に定める留学するための在留資格を取得又は更新できる者で、次の各号のいずれかに該当する者は出願資格を有する。

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（2025年3月31日までに修了見込みの者を含む。）
- (2) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者（2025年3月31日までに卒業見込みの者を含む。）
- (3) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（2025年3月31日までに授与される見込みの者を含む。）
- (4) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (5) その他本研究科において、個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに22歳に達する者

3 出願期間・出願手続

出願期間 夏期募集 2024年7月22日(月)から2024年7月29日(月)まで

冬期募集 2024年11月20日(水)から2024年11月29日(金)まで

注) 出願期限は、出願期間の最終日必着とします。出願期間後に到着した願書は、受理しません。

出願手続(1)出願を希望する者は、事前に必ず志望する専門領域の教員へ連絡のうえ面談すること。

◎ 連絡先については、29ページを参照

(2)一般選抜の出願資格(9)(10)(11)または外国人留学生特別選抜の出願資格(5)により出願しようとする者は、出願前に個別の出願資格審査を行うので、期日までに以下の書類を看護学研究科の学務課まで持参または追跡できる郵送方法(書留、レターパック、特定記録等)にて郵送してください。(郵送の場合は看護学研究科 学務課 必着)

提出期限 夏期募集 2024年7月5日(金) 17:00

冬期募集 2024年11月11日(月) 17:00

また、夏期募集の際に本学の出願資格審査を受け出願を認められた者が、冬期募集に出願する際には、あらためて出願資格審査は不要です。夏期募集の出願資格審査の結果、出願を認められなかった者で特別な変更がない場合は、冬期募集にも出願できません。

ア 出願資格審査申請書(本研究科所定の用紙を使用すること)(全員)

イ 看護系の短期大学、専修学校、各種学校等の卒業証明書(全員)

ウ 看護師免許証の写し(全員)

エ 保健師、助産師の資格を有する者は、免許証の写し(一般選抜出願資格(11)①該当者)

オ 看護教員養成課程修了証明書(一般選抜出願資格(11)②該当者)

カ 学会、大学等が主催する体系化された教育研修の受講修了証明書(受講の教育プログラムと単位や時間数が分かるもの)(一般選抜出願資格(11)③該当者)

キ 認定看護管理者または認定看護師の資格証明書(一般選抜出願資格(11)④該当者)

ク 大学院修士課程修了(見込)証明書(一般選抜出願資格(11)⑤該当者)

ケ 学術論文の複写、研究発表等の抄録の複写、著書については表紙・目次の複写、編著者がわかるページおよび出願する者が執筆したページの複写(一般選抜出願資格(11)⑥該当者)

コ 返信用レターパックライト1枚(全員)

注1) 入学者選抜試験の結果、合格者となった場合は、本申請書に記載した経歴について、所属長の証明書を求めることもある。

記載内容が証明書と相違する場合は、合格を取り消すことがある。

注2) 書類提出後、必要に応じ個別に指定する書類の追加提出を求める場合がある。

出願資格審査の結果は、出願期間の開始日までに本人に書面で通知します。

出願書類

◆看護学研究科出願書類所定様式は、こちらの URL からダウンロードできます。

<https://www.u-hyogo.ac.jp/cnas/admissions/>

書 類 等	摘 要	提出書類		
		一般	外国人	学部生特別
入 学 志 願 票 ・ 受 験 票	本研究科所定の用紙を使用し、両面印刷してください（夏期募集と冬期募集の入学志願票をお確かめください）。 入学志願票および受験票については、出願前3か月以内に撮影した写真（無帽、上半身正面、縦4cm×横3cm）で同じものを所定欄に貼付してください。	○	○	○
大学等の卒業（見込） 証明書又は外国における 学校教育の修了（見込） 証明書（注1）	日本の大学若しくは日本の大学に相当するものを修了（見込）したことを証明するもの、またはこれに相当するもの等	○	○	○
学 位 授 与 証 明 書	出願資格一般(2)、外国人留学生(5)に該当するもの	該当者	該当者	—
大学、大学評価・学位授与 機 構 等 の 成 績 証 明 書	出願に該当する機関の長が作成し厳封したもの なお、大学以外の教育機関で看護教育（看護師、保健師、助産師）を受けた者は、当該校の成績証明書も提出してください。	○	○	○
大 学 院 を 受 け る 目 的	本研究科所定の用紙を使用し、自筆で記入してください。400字以内にまとめてください。	○	○	○
事 前 面 談 確 認 書	事前面談を受けた研究指導教員から、事前面談確認書の所定の欄に、署名・捺印を受けてください。	—	—	○
入 学 考 査 料	30,000 円 ゆうちょ銀行が、出願前1か月以内に振り出した30,000 円の『普通為替証書』によること。 ただし、証書には一切何も記入しないで、ゆうちょ銀行が振り出したままの状態にしておいてください。	○	○	○
受 験 票 返 送 用 レ タ ー パ ッ ク	「受験票」返送用としてレターパックライトを1枚同封してください。送付先には、ご自身の住所、氏名、電話番号を記入してください。	○	○	○
連 絡 用 あ て 名 票	郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記してください。	○	○	○
外 国 人 留 学 生 入 学 願 書	本研究科所定の用紙を使用してください。	—	○	—
住 民 票 の 写 し	在留資格、在留期間が記載されたもの（コピーは不可） ＊出願時に提出できない者は、パスポートのすべてのページのコピーを提出してください。	—	○	—
日 本 語 能 力 に 関 す る 証 明 書	日本語能力に関する試験結果の写しを提出してください（「日本語能力試験」または「日本留学試験」の証明書が望ましい）。	—	○	—
郵 送 準 備 チェック票	提出する書類を確認し、該当項目にチェックを入れて出願書類と共に郵送してください。	○	○	○

注1）一般選抜出願資格(9)(10)(11)または外国人留学生特別選択(5)により出願する者は、事前に出願資格審査を受ける際提出した書類の再提出は不要。

注2）出願資格等の証明書と「入学志願票・受験票」の氏名が不一致の場合は、改姓を証明するものを提出すること。

注3）夏期募集に出願した者が、再度冬期募集に出願する際には、あらためて出願書類を提出すること。

注4）日本語・英語以外の書類については、日本語に訳したものを別に添付すること。

出願書類の確認・郵送

- (1) 看護学部・看護学研究科ホームページに「郵送準備チェック票」を掲載していますので、提出する書類を確認し、該当項目にチェックを入れて出願書類と共に郵送してください。
- (2) 出願書類は「郵送準備チェック票」記載の順にとりまとめてください。
- (3) 市販の角形2号封筒を用意し、入試情報のページ <https://www.u-hyogo.ac.jp/cnas/admissions/> からダウンロードした「出願用封筒ラベル」を封筒のあて名面に貼付してください。
- (4) 出願書類は一括して角形2号の封筒に入れ「簡易書留速達郵便」で郵送してください。

出 願 先 〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13-71

兵庫県立大学 明石看護キャンパス学務課宛

教員連絡先

専 門 領 域	教 員	電 話 番 号	e-mail
看護生体機能学	谷 田 恵 子	078-925-0863	keiko_tanida@cnas.u-hyogo.ac.jp
生活機能看護学	坂 下 玲 子	078-925-9416	sakashita@cnas.u-hyogo.ac.jp
環 境 看 護 学	小 西 美和子	078-925-9433	miwako_konishi@cnas.u-hyogo.ac.jp
看 護 教 育 学	研究科長まで連絡してください		miho_takami@cnas.u-hyogo.ac.jp
が ん 看 護 学	川 崎 優 子	078-925-9437	yuko_kawasaki@cnas.u-hyogo.ac.jp
クリティカルケア看護学	大 江 理 英	078-925-9421	rie_oe@cnas.u-hyogo.ac.jp
成 人 看 護 学	森 菊 子	078-925-9447	kikuko_mori@cnas.u-hyogo.ac.jp
老 人 看 護 学	高 見 美 保 (研究科長)	078-925-9443	miho_takami@cnas.u-hyogo.ac.jp
母 性 看 護 学	工 藤 美 子	078-925-9439	yoshiko_kudou@cnas.u-hyogo.ac.jp
小 児 看 護 学	丸 光 恵	078-925-9442	mitsue_maru@cnas.u-hyogo.ac.jp
精 神 看 護 学	川 田 美 和	078-925-9429	miwa_kawada@cnas.u-hyogo.ac.jp
在 宅 看 護 学	大 野 かおり	078-925-9430	kaori_ono@cnas.u-hyogo.ac.jp
	大 村 佳代子	078-925-9436	kayoko_omura@cnas.u-hyogo.ac.jp
国 際 看 護 学	研究科長まで連絡してください		miho_takami@cnas.u-hyogo.ac.jp
組 織 看 護 学	撫 養 真紀子	078-925-9425	makiko_muya@cnas.u-hyogo.ac.jp
地 域 看 護 学	石 井 美由紀	078-925-9435	miyuki_ishii@cnas.u-hyogo.ac.jp
学 校 保 健 学	古 川 恵 美	078-925-9407	emi_furukawa@cnas.u-hyogo.ac.jp
看 護 情 報 学	高 見 美 樹	078-925-9409 (明石看護C) 078-303-1968 (神戸情報科学C)	takami@ai.u-hyogo.ac.jp
災 害 看 護 学	増 野 園 恵	078-925-9439	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp

4 選抜方法・試験期日・試験科目等

- 選抜方法** (1) 一般選抜は、筆記試験、面接および出願書類により行う。
- (2) 外国人で、出願する者については、一般選抜の選考基準のほか、修学に必要な日本語について筆記、口述その他適当な方法により行う。
- (3) 特別選抜は、面接および出願書類により行う。

- 試験科目** (1) 英 語〔看護関連の英語論文の読解（英和辞典のみ1冊持込可。ただし、外国人留学生特別選抜を受験する者は、英和辞典または英語母国語辞典のみ1冊持込可）〕
- (2) 専門科目〔志望する専門領域1科目を受験すること。〕

看護生体機能学	生活機能看護学	環 境 看 護 学
看護教育学	がん看護学	クリティカルケア看護学
成人看護学	老人看護学	母性看護学
小児看護学	精神看護学	在宅看護学
国際看護学	組織看護学	地域看護学
学校保健学	看護情報学	災害看護学

- (3) 面 接

試験日時

夏期募集

一般選抜・外国人留学生特別選抜

月 日	科 目 名	時 間
2024年8月27日(火)	英 語	10:00 ~ 11:30
	専 門 科 目	12:30 ~ 14:00
	面 接	14:30 ~

兵庫県立大学看護学部生特別選抜

月 日	科 目 名	時 間
2024年8月27日(火)	面 接	14:30 ~

冬期募集

一般選抜

月 日	科 目 名	時 間
2024年12月17日(火)	英 語	10:00 ~ 11:30
	専 門 科 目	12:30 ~ 14:00
	面 接	14:30 ~

受験上の注意

- 1 専門科目の出題水準は、看護系大学卒業程度とします。ただし、学校保健学領域については、養護教諭1種免許状が取得可能な教職課程を置く大学卒業程度とします。
- 2 受験票は必ず携行し、試験中は机の上に置いてください。受験票を忘れた場合は、本研究科入試本部にその旨を申し出て受験票の再発行を受けてください。
- 3 受験者の写真照合、受験上の諸注意等を行いますので、試験開始30分前までに指定された席に必ず着席してください。
- 4 試験開始後30分以上の遅刻者には受験を許可しません。
- 5 試験時間中は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類の使用を禁止します。
- 6 昼食は各自持参してください。
- 7 宿泊が必要な方は、各自宿舎を確保してください。
- 8 車での来場はできません。
- 9 大学内はすべて禁煙になっています。

試験会場

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13-71

兵庫県立大学 明石看護キャンパス

電話 (078) 925-9404

(35ページの案内図参照)

5 合格発表

発表日時 夏期募集 2024年9月3日(火) 14:00
冬期募集 2024年12月24日(火) 14:00

発表方法 合格者には合格通知書および書類を送付します。

また、合格発表日時から入学手続き最終日まで本学看護学部・看護学研究科ホームページ(<https://www.u-hyogo.ac.jp/cnas/>)においても合格者受験番号一覧を掲載します。ただし、この掲載は情報提供の一環として行うものであり、公式の合格発表は、郵送する合格通知書とします。

注) 電話による照会には一切応じません。

6 入学手続・入学料等

手続期間 夏期募集 2024年9月6日(金)から2024年9月20日(金)まで
冬期募集 2025年1月6日(月)から2025年1月15日(水)まで

手続方法 手続書類等を取りそろえて、手続期間内に下記のいずれかにより入学手続きを完了してください。
期限までに入学手続きを完了しない人は、入学辞退者として扱います。

- (1) 郵送により入学手続きを行う場合は『入学手続書類』および『入学料の振込金受取書』を
本研究科所定の封筒(合格者に後日送付)に同封のうえ『簡易書留速達』扱いで郵送してくだ
さい。

なお、入学手続期限を過ぎて到着した手続書類は受理できませんので、期限に遅れないよう
に注意してください。

- (2) 本学明石看護キャンパスに来学して、直接入学手続きを行う場合は『入学手続書類』および
『入学料の振込金受取書』を提出し、入学手続きを完了してください。

なお、受付は手続期間(土・日・祝日を除く。)の9時30分から17時(12時から13時を除く。)
までとします。

手続書類 手続書類は、合格者に別途送付します。

- (1) 学生票(下宿先が決まっていない時は、確定後に提出してください。)} 本 研 究 科
(2) 誓約書 } 所 定 の 様 式
(3) 出身大学の卒業証明書(すでに提出している人は不要です。2025年3月卒業見込みの人は、卒業式後に提出してください。)

- (4) 住民票記載事項証明書(戸籍記載事項証明書)……県外者は不要です。

入学料の県内者、県外者を確認するための書類です。

戸籍記載事項証明書は、住民票記載事項証明書で県内者を確認できない場合に限り提出し
ていただきます。

- (5) 入学料の振込金受取書

- (6) 就学許可書

現在、在職中の者で、入学後も現在の身分を継続される方は、就学に専念できるよう、
所属長の「就学許可書」(様式随意)を提出してください。

入学料等 2024年4月1日現在の入学料等の額は次のとおりです。

入 学 料 県内者 282,000円

県外者 423,000円

授 業 料 年 額 535,800円

(前期授業料 267,900円、後期授業料 267,900円)

- (1) 入学料については入学手続き時に、前期授業料については入学後に納入してください。
ただし、兵庫県公立大学法人授業料等に関する規程が改正された場合は、その金額によります。
また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料の額を適用します。
- (2) 県内者とは、入学の日（2025年4月1日）の1年前から引き続いて兵庫県内に住所を有する者、または入学の日の1年前から引き続いて兵庫県内に住所を有する1親等の親族または配偶者がいる者としします。外国人留学生は、県内者として扱います。
県外者とは、上記以外の者としします。
- (3) この他に後援会費が必要です。

長期履修制度について

兵庫県立大学大学院看護学研究科において「長期履修制度」を導入しています。
この制度は、職業を有している等の事情により標準修業年限（博士前期課程2年、博士後期課程3年）では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象としています。
事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができます。
本制度を利用したい者は、出願時に志望する専門領域の指導教員と相談してください。

大学院設置基準第14条特例（昼夜開講制）について

「実践リーダーコース」において、学習意欲を持ちつつも昼間修学することが困難な社会人の働きながら学ぶ機会を確保するために「昼夜開講制」を導入しています。

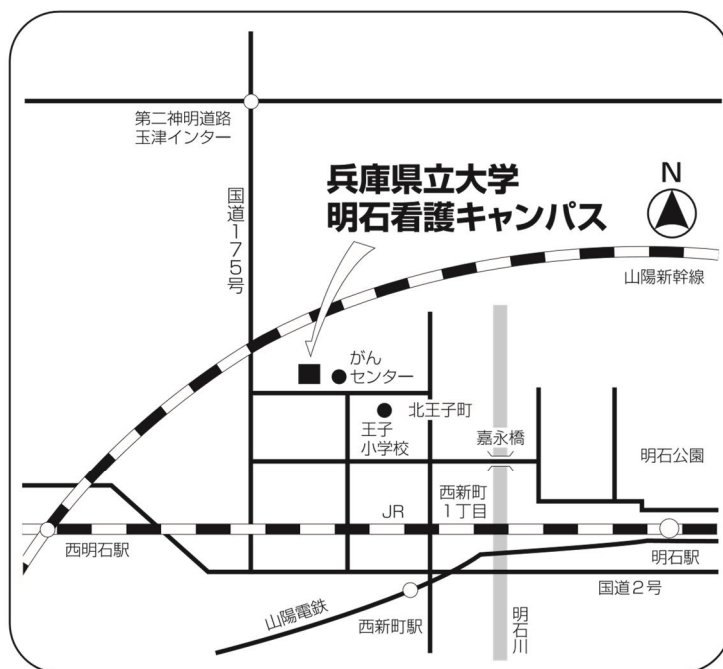
- <注意事項> 入学手続きを完了し、入学を許可された者であっても、2025年3月31日までに、以下のいずれかに該当する場合は、当該入学許可を取り消します。
- (1) 大学等を卒業できない場合
 - (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位が授与されない場合
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了できない場合

7 試験会場案内図・願書記入要領

試験会場（兵庫県立大学 明石看護キャンパス）案内図

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13-71

電話（078）925-9404



○JR明石駅、山陽電鉄明石駅からバス5～15分程度（がんセンター下車）、徒歩5分

○JR山陽新幹線西明石駅からタクシーで10分

記入要領・記入例

- 1 記入に当たっては、黒色のボールペンを使用し、楷書ではっきりと記入すること。
- 2 入学志願票等の記入欄は、該当事項を記入すること。

記入例 1

【連絡用あて名票】

連絡用あて名票

（上下両方ともに、郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入すること）

1	2	3	4	5	6	7
---	---	---	---	---	---	---

兵庫県明石市〇〇町13-71

北王子 明子 様

TEL 090 - 3456 - 7890

記入例 2

【入学志願票および受験票】

一般・外国人

夏期募集

2025 年度兵庫県立大学大学院

看護学研究科博士前期課程（修士課程）入学志願票

フリガナ	キタオウジ アキコ	男	受験番号	※院
氏名	北王子 明子	女		
生年月日	1988 年 8 月 8 日 生			
専攻	看護学専攻			
志願専門領域	母性看護学 [志望のコースを☑すること] ☒ 高度実践看護コース ☐ 研究コース ☐ 実践リーダーコース ☐ 災害看護グローバルリーダーコース			
(注) 出願資格	2011 年 3 月 卒業 ・ 卒業見込 兵庫県立 大学 看護 学部 看護 学科			
	年 月 認定終了 ・ 認定修了見込 大学評価・学位授与機構 学士			
免許取得 年月 (免許番号)	看護師	平成 23 年 4 月 (1 2 3 4 5)		
	保健師	平成 23 年 4 月 (6 7 8 9 0)		
	助産師	年 月 ()		
	養護教諭(専修・一種・二種)	年 月 ()		
本人	本籍 (国籍)	(※都道府県名・外国人出願者は国籍を記入) 兵庫県		
	フリガナ	ヒョウゴケンアカシシ マルマルチョウ		
	現住所	〒 123-4567 兵庫県明石市〇〇町 13-71 [携帯電話 090 - 3456 - 7890]		
	連絡先 (現住所と 違う場合 のみ記入)	〒 [電 話 () -]		
注) 出願資格(11)により出願資格審査を受けた者は「出願資格」の欄は記入不要 ※				

写真貼付 ※
(縦4cm×横3cm)
受験票に貼り付けた
写真と同じもの

入学考査料
領 収 印

(切り離さないこと)

夏期募集

2025年度 兵庫県立大学大学院
看護学研究科博士前期課程（修士課程）受験票

フリガナ	キタオウジ アキコ	男	受験番号	※院	写真貼付	※
氏名	北王子 明子	女			(縦4cm×横3cm) 志願票に貼り付けた 写真と同じもの	入学考査料 領 収 印
専攻	看護学専攻	志望専門領域	母性看護学			

注) ※印欄は、記入しないでください。

記入例 3

【入学志願票および受験票の裏面】

履歴書		
学歴 (高等学校以上)	2004 年 4 月	兵庫県立天文台高等学校入学
	2007 年 3 月	兵庫県立天文台高等学校卒業
	2007 年 4 月	兵庫県立大学看護学部看護学科入学
	2011 年 3 月	兵庫県立大学看護学部看護学科卒業
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職歴	2011 年 4 月	兵庫県立天文台病院就職現在に至る
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

注) 手書きする場合は、黒のボールペンで丁寧に記入すること（消せるボールペンは不可）。

注) 外国人留学生は別紙（外国人留学生入学願書裏面）に記入すること。

1. 試験期日および時間

月 日	科 目 名	時 間
2024年 8月27日(火)	英 語	10：00～11：30
	専 門 科 目	12：30～14：00
	面 接	14：30～

2. 合格発表

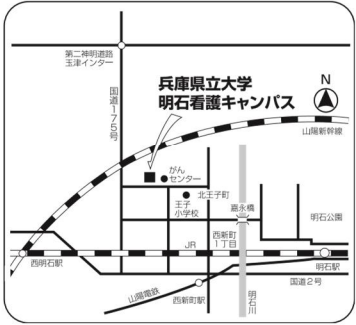
2024年 9月 3日(火) 14：00

3. 注意事項

- (1) 試験当日はこの「受験票」を必ず持参すること。
- (2) 8月27日(火)は、9：30までに試験会場に集合すること。 ○JR明石駅、山陽電鉄明石駅からバス 5～15分程度（がんセンター下車）、徒歩 5分
○JR山陽新幹線西明石駅からタクシーで10分

試験会場（兵庫県立大学 明石看護キャンパス）案内図

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13-71
電話 (078) 925-9404



8 利用可能な各種奨学金制度等

教育訓練給付制度

本研究科では、博士前期課程（修士課程）の高度実践看護コースが厚生労働省の教育訓練給付制度の講座指定を受けています。受給資格等の詳細は事前に学務課に問い合わせてください。

本制度は働く人の主体的な能力開発の取り組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。

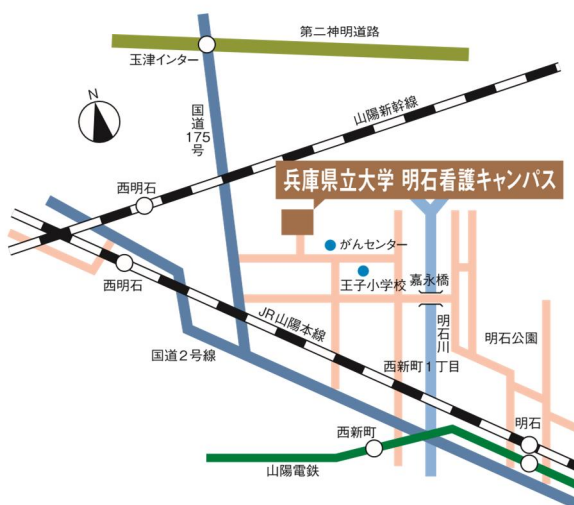
一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者（在職者）または一般被保険者であった人（離職者）が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合、教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一部がハローワークから支給されます。

その他の奨学金

日本学生支援機構奨学金など各種奨学金制度を利用することができます。

入学後、学務課に相談してください。

Master's Program in Nursing



●交通のご案内

JR山陽本線、山陽電鉄明石駅からバスで5～15分程度
JR山陽新幹線西明石駅からタクシーで10分

兵庫県立大学大学院看護学研究科

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13番71号

電話(078)925-9404

URL <https://www.u-hyogo.ac.jp/cnas/>